

Matsuda

No.211
2018.8.15

松田町議会だより



青空広場で楽しく食事

(7/22 調理室で親子でPIZZAを作り、町民文化センター大ホール前の青空広場で食事をしました)

第2回定例会の概要	2	議員行政視察報告	8
条例・補正予算・議案審議結果一覧など	3	政務活動費収支報告	9
一般質問	4	議会報告会・意見交換会概要	10
第4回臨時会の概要	7	住みやすい町を目指して ³⁴	12



籠場住宅の完成イメージ図

総務文教常任委員会での審査

第2回定例会は、6月5日から7日までの3日間の会期で開催されました。条例（新設2件・一部改正3件）、補正予算1件を審議し、繰越明許費繰越計算書の報告1件を受けました。ここでは、総務文教常任委員会に付託された「議案第35号 松田町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例」「議案第36号 松田町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例」についての主な審査の概要を掲載します。

平成30年 第2回定例会

会期 6月5日(火)～7日(木)

6/5

一般質問

利根川議員・井上議員 (P4)
田代議員・南雲議員 (P5)
平野議員・小澤議員 (P6)
大館議員 (P7)

6/6

議案審議

議案 6件(条例、補正予算)

議案審査

委員会 2件(条例)

6/7

議案審査

委員会 2件(条例)

議案審議

委員会報告 2件(条例)、報告 1件(繰越明許費)、各種報告などが行われ、閉会しました。

議案第35号と議案第36号の条例は、6月6日に上程され、PFI事業で建設中の住宅の設置及び管理に関する新設条例であることから、総務文教常任委員会に付託され、6月6日及び7日に委員会を開催し審査をしました。

議案第35号 松田町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

籠場地区に建設中の公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例です。建物の規模は、鉄筋コンクリート3階建ての全21戸で、単身・二人世帯向け住宅及び既存の町営住宅の集約を図るための住宅です。

審査の主な内容は、家賃の設定に基づく収支と借地している既存町営住宅敷地の年間借地料の確認、既存町営住宅からの入居者に関する対応事項などで、原案のとおり可決すべきものと本会議で委員会報告をし、賛成全員で可決されました。

議案第36号 松田町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

町屋地区に建設中の地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例です。建物の規模は、鉄筋コンクリート4～7階建ての全28戸で子育て世帯などを対象にした住宅です。

審査の主な内容は、国の地域優良賃貸住宅制度に基づくものであるが、議案第35号と同様に条例に家賃の設定事項が必要と判断し、2条を追加して原案の一部を修正可決すべきものと本会議で委員会報告をし、賛成多数で可決されました。

松田町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

総務文教常任委員会報告書(抜粋)

審査の内容

総務課長、政策推進課長及び担当職員出席のもと、条例の構成、規則(案)、地域優良賃貸住宅制度要綱、家賃と駐車場使用料の設定方法、今後の事業収支の推移等を詳細に審査しました。

審査の結果、この条例は、国の地域優良賃貸住宅制度に基づくものであるが、家賃等の設定についての条項が条例に必要であると判断し、原案の一部を修正(追加)する必要があると結論に達しました。

なお、次の項目について、強く申し入れをいたします。
(1) この条例は、人口増と定住促進を図るものであるため、安定した入居率の確保と向上を目指し、管理運営に努められたい。

(2) 駐車場使用料については、子育て世帯、新婚世帯等の居住安定に寄与するため、配慮されたい。

松田町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

総務文教常任委員会報告書(抜粋)

審査の内容

総務課長、政策推進課長及び担当職員出席のもと、既存町営住宅の集約化について重点的に審査しました。具体的には、町が借地している既存町営住宅の入居者数及び借地料の確認、家賃の設定方法、今後の事業収支の推移、規則(案)等を詳細に検討しました。

審査の結果、この条例は、町民の福祉向上及び定住促進を図るために必要であると判断しました。

なお、次の項目について、強く申し入れをして原案のとおり賛成することとしました。

(1) 借地の町営住宅入居者の移転を促進するために家賃設定を考慮し、集約化を推進されたい。

(2) 町有地の仲町屋及び沢尻町営住宅の集約化も進められたい。

条例・補正予算・繰越明許費

▼松田町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

籠場地区に建設中の公共賃貸住宅の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため、制定するものです。(詳細は2ページ参照)

▼松田町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例

町屋地区に建設中の地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため、制定するものです。(詳細は2ページ参照)

▼松田町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、固定資産税の課税標準の特例について一部改正をするものです。

▼松田町放課後児童健全

育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行され、放課後児童支援員の基礎資格等の一部改正をするものです。

▼松田町公園条例の一部を改正する条例

都市公園法施行令の一部改正がされ、地方公共団体が運動施設率を条例で定めることとされたため、一部改正をするもの

です。

▼平成30年度松田町一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ750万1千円を追加し、予算総額を49億9750万1千円とするものです。

内容は、個人番号カード関連事業費交付金、クールチョイス「賢い選択」による00排出削減促進事業、退職消防団員報償金の補正をするものです。

▼平成29年度松田町一般



川音川パークゴルフ場(運動施設の敷地面積の割合は50/100とされた)



長寿命化計画に基づき橋脚の補強と落橋防止装置が設置された大寺橋

会計繰越明許費繰越計算書の報告について

社会福祉費一般事務経費、小田原市斎場事務等負担金、橋梁長寿命化事業、町営住宅建設経費、松田中学校施設調査経費の5事業について、総額2億1868万5360円を30年度へ繰り越した計算書の報告がされました。

審議の結果

以上、議案6件を審議し、原案のとおり可決5件・修正可決1件、報告1件を受けました。採決の結果は、下段をご覧ください。

議案審議結果一覧

第2回定例会(6月議会)

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	平野由里子	田代実	井上栄一	南雲まさ子	飯田一	利根川茂	小澤啓司	石内浩	齋藤永	鈴木眞徳	大館秀孝
				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35	松田町公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例(総務文教常任委員会報告)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	松田町地域優良賃貸住宅の設置及び管理に関する条例(総務文教常任委員会報告)	修正案	可	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
		修正案以外の部分の原案	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	松田町税条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	松田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39	松田町公園条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	平成30年度松田町一般会計補正予算(第1号)		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 中野博議長は、採決には加わらない。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

子ども食堂の開設・運営支援を！



質問者
利根川 茂 議員

放課後の子どもたちが、無料や安価で食事の摂れる「子ども食堂」が全国で2200か所、県内では169か所が開設されています。近隣では、中井町・箱根町等にも設置されています。

7人に1人の子どもが、生活保護基準以下で生活しているとの統計もあります。

食の安全と確保は、何よりもかえりたいものです。

本町でも、社会福祉協議会・NPO法人・各地区ふれあい会等で開設できるような働きかけや、運営支援を町としてできませんか。町長のお考えをお示しく下さい。

A

必要性を感じ
検討を指示

回答（町長）



中井町や箱根町等で実施している「子ども食堂」については、承知している。将来的に必要となる事業であることを感じ、各職員に検討を指示していた。

多様な社会の中で、共働きやひとり親世帯が増加傾向にある社会的な背景を察し、単に所得が低く困っているということだけでなく、子どもの居

場所づくりが必要とされ始めていると感じている。子育て世代の支援並びに協力者の、生きがいの創出・世代間交流による郷土愛の醸造などを図ることができると子どもの居

町営住宅の進捗状況について



質問者
井上 栄一 議員

籠場住宅・町屋住宅は、現在建築工事が順調に進んでいるところだと思えます。これらの住宅整備事業については、一昨年度30年間の債務負担行為を議決したところであり、町営住宅整備事業の30年間の順調適正な運営には、入居者の募集・確保が重要であります。そこで、これからの籠場住宅、町屋住宅の入居者募集等の状況、債務負担行為議決時以降の収入

場所づくりの必要性を感じており「子ども食堂」について検討を始めた。町が直接運営するか、ボランティア団体を募るなど、支援の体制づくりを検討していく。

A

入居者募集は
民間のノウハウを
活かして

回答（町長）



支出状況の変更等の箇所、今後の計画や事業の進捗の見込みについて、町長のお考えをお聞かせください。

籠場住宅の入居者は、現町営住宅の集約化を目標に、町屋住宅の入居者募集は、民間会社のノウハウを活用して行う。今後、債務負担行為のシミュレーションも収入支出の部分で変更が生じるので、再度シミュレーションしその都度説明をしていきたい。

松田に住み続けていたために、松田町の魅力というものをセッティングしなければいけない。歴史と文化の結節点であり、自然環境に恵まれているところに若い方々と結びつくには、人・農地プランや農地中間管理機構を利用して入居者と松田の自然の魅力を結び付けるなど情報提供して住んでいただく。



町屋地区に建設中の町営住宅

通学路に防犯カメラの設置を！



質問者
田代 実 議員

松田町第5次総合計画「防犯対策」の取り組みにあるように、自主防犯団体（防災ボランティア）の活動をよく目にし、頭の下がる思いです。加えて、犯罪抑制のための防犯カメラの設置も重要と

- 考えますので、次のことについてお伺いします。
- (1) 防犯カメラの設置状況と、通学路への設置計画について
 - (2) 新松田駅を起点とす



昨年度設置した松田小学校付近のカメラ

るタクシー会社に対し、ドライブレコーダーの設置（更新）支援をすることについて

- (3) 第5次総合計画は今年度で完了するので、31年度以降の新たな総合計画の基本目標指標として、防犯カメラやドライブレコーダーに関する数値を位置づけることについて

計画的に防犯カメラを設置していく

回答（町長）



- (1) 防犯カメラは、事件を未然に防ぐ抑止力向上

になるため現在は5台、30年度は2台の設置を予定している。31年度以降、自治会や関係団体の声を聞き通学路や公園、不審者情報発生場所などへ計画的に設置していく。

- (2) タクシー会社に対するドライブレコーダーの設置補助は、防犯に特化したものでなく観光や見守り、福祉や災害時の対

将来に向けてのSDGs（エスディージーズ）の推進について



質問者
南雲 まさ子 議員

SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能な世界の実現を目指すとし、2015年9月の国連サミットで採択され、国としても推進される中、全国的に展開する上で市町村の取り組みが必要不可欠であるとされています。

応など包括的な協定を前提に協議を進めたい。

- (3) 新たな総合計画の基本目標として、地域からの意見や要望を伺い、町全域について年度別の目標計画を策定していく。また、ドライブレコーダーは町民や企業、団体に必要性を周知し普及を図っていく。

そこで、次の点についてお伺いします。

- (1) SDGsの本町としての取り組みは。
- (2) 「都市鉱山からつくろ！みんなのメルダルプロジェクト」は、東京オリンピックをきっかけに持続可能な社会の仕組みづくりをつくるとし、本町

地方創生の推進にSDGsを

回答（町長）



でも取り組んでいます。もっと周知の工夫が必要と思われませんがお考えは。

- (3) SDGsの目標に掲げられている「すべての人に健康と福祉を」にも合致する認知症の早期発見のための施策のお考えは。

- (1) SDGsの理念や考えを新たな総合計画策定のものさしとしていく。SDGsの持続可能な共通の目標は、町でも諸問題を解決し地方創生を推進するものと考ええる。
- (2) 本町も参加しているこのプロジェクトは、東京オリンピックのメルダルを使用済小型家電から抽出される貴金属で製作す

SDGsとは、「サステナブル ディベロップメント ゴールズ」の略語で、持続可能な開発目標として、2015年9月、国連の持続可能な開発サミットで、2016年から2030年までを国際目標期間として、全会一致で採択されたもので、17の目標と169のターゲットを定めている。各自治体は、各種計画や戦略、方針の策定や改訂にSDGsの要素を反映し始めている。

- (3) 認知症早期発見のために、認知症サポーター養成講座の参加者を増やし、認知症の初期症状を感じる事の重要性を理解して頂く。また、サポート医と相談しながら認知症ケアパスを作成し、早期発見に役立てていく。

学校の部活動と「未来トップランナー育成・応援助成金」事業について



質問者
平野 由里子 議員

全国的に学校教職員の長時間勤務が問題となっており、その緩和のためにも、部活動について国からのガイドラインが3月に出ましたので、次のことについてお尋ねします。

(1) 町内の小中学校の教職員の長時間勤務の実態はどのようですか。
(2) 部活動についての国のガイドラインへの対応の現状と今後の方針はどのようですか。

うなっていますか。

(3) 部活動以外に地域のクラブチームに所属したり、学校外で音楽・芸術活動に取り組む生徒もいますが、学校外活動は「未来トップランナー育成・応援助成金」の適応は可能でしょうか。適応の基準はどうなっていますか。

部活動のあり方は国や県の方針に沿って検討中

回答 (教育長)

A



(1) 時間外労働が月80時

松田中学校は運動部7部・文化部2部、寄中学校は運動部1部・文化部1部を設置

間を超えたものについて学校長より報告を受けている。該当者は何人かおり、医師による指導体制もあるが、現在心配されるケースはない。本人も管理者も勤務時間短縮に努める。

(2) 平成30年3月に国が発表した「部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」を受け、県も「1年に平日及び週休日各52日以上は休養日を設ける。その際ひと月のうち平日及び週休日に必ず休養日を設ける」との方針を出した。県西地域でも現在協議している。

(3) 文化・芸術・スポーツなど様々な分野で町内外での活躍著しい中高生を対象とするので、学校外活動も含まれる。選定基準や制度設計は協議中で、7月末までに総合教育会議の中でまとめる。

小売業者の事業承継施策を問う



質問者
小澤 啓司 議員

近年、町内小規模事業者の高齢化が進み、後継者不在で廃業が後を絶ちません。団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題を間近に控え、小売業、特に生鮮三品業種の衰退

は著しく、高齢者の生活に大きな影響を与えています。住みやすい生活環境を守り、人口減少を食い止めるためにも、小売業者の存続は必要です。次のことについて質問

住みやすい街づくりに努力を続ける

回答 (町長)

A



(1) 制度として国の「後継者承継支援型」補助制度や「小規模事業者持続化補助金」がある。町としても「店舗リノベーション」を創設し支援している。

今後、包括連携を協定した人材派遣会社と協力し、小規模事業者の承継に努める。また、一般社団法人「日本メインストリートセンター」が、町商工振興会などの関係者と連携し、地域の人材や組織を育成する計画がある。

(2) 地域密着型スーパー開設については、以前から要望があり適宜検討しているが、事業者や設置場所など選定が難しい。空き店舗を活用し生鮮三品を扱う業者の誘致や現在運行している「移動販売車」の増発を検討するなど、買い物困難者への対策を進める。



閉店が目立つようになった商店街

町の潜在的資源を活かした活性化を問う



質問者
大館 秀孝 議員

アメリカのトランプ大統領のイラン核合意離脱発表以来、燃料等が今までに無いような高騰をしています。化石燃料に頼り過ぎる状況では、将来的不安を禁じえません。松田町の活性化を考えると、対策が必要と思われる。

そこで、次の2点についてお伺いします。
(1) 代替燃料として再生可能なバイオマス燃料が考えられますが、町長の考え方をお伺いします。
(2) 酒匂川・川音川の河川敷は、運動公園として利用されています。中津川の河川敷も利用可能な所もあると思いますが、考えをお伺いします。

住みやすい街づくりに努力を続ける 回答（町長）



(1) 本年度に松田町の再生可能エネルギーの施策の方向性を明らかにし、活用に関する理念、行政・住民・事業者の役割等を

規定する（仮称）再生エネルギー促進条例制定の検討会を設置する。
単なる再生可能エネルギーの活用ではなく、地域経済の再生に向けた政策として位置付けたい。

今後CO2排出量削減による地球環境や本町の大切な資源である山を守ることで、生活に欠かさない水を確保するためにも、新たなエネルギー需給体制の確立に取り組んでいく。
(2) 河川法及び河川砂防法の事務手続き等、占用許可を得るには課題が多く時間を要する。広場を中心に河川敷が整備されれば景観・有害獣対策にもなるので県に要望し、次に地域活性化に資する計画を作りたい。



北海道下川町の木質バイオマス地域熱供給システムボイラー
（平成29年10月26日議員視察）

..... 一般質問は、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。.....

平成30年 第4回 臨時会

平成30年第4回議会臨時会が、7月20日に開催され、専決処分の承認と補正予算を審議しましたので、その概要をお知らせします。

▼専決処分の承認を求めることについて（平成30年度松田町一般会計補正予算（第2号））

一般会計補正予算（第2号）は、歳出予算の準備金を減額し、総務費の徴収費を374万6千円増額するもので、予算総額は49億9750万1千円に変更ありません。

内容は、法人町民税の確定申告に伴い、過誤納還付金及び還付加算金が発生したため、7月4日に専決処分したので、この承認を求めています。
▼平成30年度松田町一般会計補正予算（第3号）
一般会計補正予算（第

3号）は、歳入歳出それぞれ1763万3千円を追加し、予算総額を5億1513万4千円とするものです。

内容は、補助事業の採択を受けたため、木質バイオマスエネルギー導入計画策定事業として計画策定業務委託料等の計上、農泊推進事業として寄自然休養村管理センター及び旧安藤邸（萱沼）の改修工事をするため補正をするものです。



平成26年に取得した旧安藤邸

審議の結果

以上、専決処分の承認1件、補正予算1件は、原案のとおり賛成全員で可決されました。

9月議会（4日・9時開会）を傍聴してみませんか！

松田町議会は、3月・6月・9月・12月の年4回定例会が開催されます。また、必要に応じて臨時会が開催されます。議会での審議を誰でも傍聴できますので、ぜひ、議場にお越しください。

- ① 議場入口に「傍聴券」がありますので、住所と氏名を記載して、入場してください。定員は25名です。
- ② 写真撮影や録音・録画等は、議長の許可が必要です。

詳細は、議会事務局へ。TEL84-1335（直通）

議員行政視察報告

平成30年6月27日(水)から28日(木)に、議員7名により、岐阜県岐阜市の「みんなの森 ぎふメディアアコスモス」と可児市の「文化創造センター aiaa」の行政視察、静岡県沼津市の「泊まれる公園 INN THE PARK」の見学をいたしましたので、その概要を報告します。

参加議員 鈴木真徳・利根川茂・中野博・南雲まさ子
井上栄一・田代実・平野由里子

みんなの森 ぎふメディアアコスモス

平成27年7月に開館した岐阜市立「みんなの森 ぎふメディアアコスモス」は、市の中心市街地に位置する岐阜大学医学部跡地で事業展開している「つかさのまち夢プロジェクト」の第1期事業で



職員より館内の説明を受ける

要は次のとおりです。

施設の利用状況は、若者の利用が多く、平成29年度実績で、年間約130万人(1日当り平日約3千人、休日5千人)が利用し、また図書館は、新規登録者数は、3万372人開館1年後には33倍となつています。この施設の稼働率は、ホール80%、ギャラリー92%と高いものとなつています。

岐阜市とは、人口や財政規模が違うため、単純に比較することはできませんが、利用者に対する「おもてなし」の大切さで、稼働率が高いと感じました。(記田代実)

可児市文化創造センター aiaa(アール)

開館は平成14年。運営は、このために設立された可児市文化芸術振興財団が可児市より指定管理を受けています。

収益の75%が指定管理



利用率が高い音楽練習室

料(平成29年度で4億5千万円)ですが、事業収益を出すことを常に意識し、また事業企画に対して国の補助金も獲得しています。

協力する市民は「aiaaクルーズ」として組織されNPO法人となり、活発に活動しています。

衛紀生館長は、「芸術の殿堂ではなく、人間の家」というモットーを掲げ、子どもから青年、現役世代、お年寄り、障がい者、生きづらさを感じる人まで、あらゆる人々に開かれた、つまり「社会包摂(インクルーシブ)」という在り方を追求すると同時に、どん

ん外に出て働きかけること(アウトリーチ)にも積極的に取り組んでいきます。

その他、さまざまな工夫がなされ、衛氏が館長に就任して以来、観客数が3・7倍となつています。

文化施設の運営理念として非常に大切なものを学ぶことができ、町民文化センターの今後の展開に活かしたいと思えました。(記平野由里子)

泊まれる公園

INN THE PARK

昭和50年代に整備された沼津市少年自然の家及び周辺の公園の施設をリ

ノベーションした新しいタイプの複合宿泊施設を見学しました。

特筆すべきは、森の中に設置した空中に浮遊する球体型のドームテントは、日本で初めて設置され、周りの立木とテントをワイヤーで保持し浮遊感を沸き立たせています。

このような旧来の施設をリニューアルし客単価の高い宿泊施設へと転換し、市の直営でなく民間への指定管理とし、利用を図っている事例は、松田町においても現在直営で運営しているハープ館や子どもの館、自然館の運営に参考となる事例であると思えました。(記井上栄一)



球体型ドームテント



炭火コンロを使用し食事を提供



岐阜県

岐阜市

可児市

平成29年度 政務活動費 収支報告

政務活動費とは、地方自治法及び松田町議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究・その他の活動を支援するために、必要な経費の一部として交付するものです。交付額は、1人当たり月額5,000円です。年度の初めに1年分(60,000円)を交付しました。

なお、60,000円を超えた分は自己負担となります。

(単位：円)

議員氏名	交付額	支 出 額				返還額	主な支出内容
		① 調査旅費 ・研修費	② 資料作成 ・購入費	③ 広 報 広聴費	支出計		
平野由里子	60,000	121,438	0	39,241	160,679	0	①視察旅費(※1)、研修費(財政分析講座/歳入+歳出編) ③議会報告広報紙印刷代
田代 実	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
井上 栄一	60,000	61,518	21,336	0	82,854	0	①視察旅費(※1) ②書籍購入費
南雲まさ子	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
中野 博	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
飯田 一	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
利根川 茂	60,000	0	70,949	0	70,949	0	②書籍購入費
小澤 啓司	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
石内 浩	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
齋藤 永	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
鈴木 眞徳	60,000	61,518	0	0	61,518	0	①視察旅費(※1)
大館 秀孝	60,000	61,518	15,942	0	77,460	0	①視察旅費(※1) ②書籍購入費
合 計	720,000	736,618	108,227	39,241	884,086	0	

視察の主な内容

※1 北海道夕張市 ⇒ 財政再生計画、財政再建団体指定から10年後の夕張市

NPO法人 ゆうばり観光協会 ⇒ 観光協会理事が語る夕張市の歴史と現状

北海道下川町 ⇒ 地域おこし協力隊、環境未来都市、バイオビレッジ構想と木質バイオマス施設見学

北海道東川町 ⇒ 写真の町、定住と景観事業、株主制度、地域おこし協力隊、上水道がない町

議会報告会 意見交換会 で活発な意見交換



開催の趣旨を説明する中野議長(町民文化センター展示ホール)

貴重なご意見ありがとうございました。
議会活動に活かしてまいります。

松田町議会では、7月1日(日)午後2時に町民文化センター展示ホール(9名参加)、同日午後7時に寄中学校屋内運動場多目的ルーム(7名参加)で議会報告会と意見交換会を開催しました。

議会報告会は、平成30年度予算・議会基本条例・自治基本条例について、審議の経過等を報告し質疑を行い、意見交換会は、松田地区が学校制度等のあり方、寄地区が寄ヒールリングヴィレッジ事業・寄1番地の活用事業について、現状を説明して意見の交換を行いましたので、概要をお知らせします。

平成30年度予算

町民 旧松田土木事務所
の改修は、小田原駅の近くのおだわら市民交流センターをイメージした感じですか。

議員 町で考えている土木事務所跡地は、女性が中心とした子育てセンターや、女性が起業する場に行かないか検討しています。おだわら市民交流センターとは、性格が違います。

議員 建物をどう利活用していくか今後ワークショップ形式等でやっていきます。30年度に建物をリニューアルするため計画を29年度から練っています。どういう内容かはこれからということですね。

町民 町民文化センターのリニューアルで、もっと音楽会や演劇などの文化的な側面も強化できませんか。

議員 大ホールをもっと宣伝し、本年度は国際交流のために英会話等が学べ、交流を促進する環境の整備として会議室等を改修し、賑わいの復活と地域経済を振興させるために取り組んでいきます。

町民 予算は、過去最高の積極的な予算編成ですが、特に地方創生事業をさらに加速するために、30年度以降も借金をして取り組むということ、6億8320万円を借り入れて事業を推進するということですか。

議員 6億8320万は、町債の予算額です。町債には、地方創生事業やPFIの町営住宅関係なども入っています。(町債のうち地方創生推進事業債は3900万円です)

議会基本条例 自治基本条例

町民 議会基本条例・自治基本条例ができたが、どちらが上位ですか。

議員 二元代表制ということ、2本立てにしています。行政を執行するほう、自治基本条例、議会のあるべき規定が議会基本条例で、両方とも位としては同じだと思えます。

町民 議会基本条例と自治基本条例の、町民の定義はなっていますか。

議員 自治基本条例第3条に町民の定義があり、町内の居住者のほか通勤者、通学者、事業者等も含まれています。議会基本条例は、特に定義はしていません。



平成30年度予算を説明する田代副議長(寄中学校屋内運動場)

町民 自治基本条例のどこに松田町のしが盛り込まれていますか。

議員 前文に、松田の自然環境の良さなどが書いてありますが、条例本文にそういうことが載っていないと指摘が議員の中からも出されました。

町民 議会を土・日曜日

や夜間に開くことはできませんか。

議員 日曜日の議会は、上郡では、開成町が行っています。議会でも良いことと認識していますが、デメリットは、職員の人件費が余計にかかることです。費用対効果を考えると、今はまだ検討課題

となっております。

学校制度等のあり方

町民 小中一貫教育や義務教育学校の場所は、小学校の所に作るのですか。

議員 今の段階では結論が出ていません。検討委員会の報告やパブコメ等の結果を経て、総合教育会議で決定していきます。

町民 中学校は、浸水する可能性があるのですが、小学校に建てたほうが安全だと思えます。

議員 通常の学校の建替えは補助金が出ませんが、小中一貫校や義務教育学校の新しい制度であれば、国から補助金が出るのが想定されます。色々な面からメリットとデメリットを検討して考えていきます。

町民 小中学校教員の長時間勤務の実態と残業代はどうなっていますか。

議員 長時間勤務は、月80時間を超えた場合は、校長から教育長に報告を

受けます。若干いるようですが、問題となるような症状の方はいないようです。残業代は、給料の中に含まれており、残業代としては出ていません。

町民 学校でのいじめ、不登校はありますか。

議員 多少はあると聞いています。

寄町インバウンドビジネス事業

町民 寄でとれる動物の肉が、簡単に私たちの口に入ると良いが、難しいことがあるのですか。

議員 規制が厳しく、2時間以内に保健所の許可を得た解体工場に運び込み、処理をしなければならぬというルールがあり、難しいところがあります。規制を緩和できないか要望しています。

議員 寄の酒米で日本酒を作って、特産品にするという事業が始まりましたがどうでしょうか。

町民 寄は、昔から田の土が浅いことや水が冷た

過ぎるため、良い米はできないと言われています。

議員 山芋そばは、すごくおいしい。今は作れる人がいますか。

町民 作れる人はいるが、保健所の関係で売ることができなくなりました。山芋も少なくなっており、あっても猪に食べられてしまっています。

議員 そばを畑に作っていきませんか。

町民 昔は、かあちゃんのお店に出していた。キジを放すからみんな食べられてしまつ。何とかありませんか。

議員 毎年キジを放鳥しているんです。それがどんどん増えていて、駆除をして欲しいという意見もあり、県の猟友会に何度も言っていますが放鳥しています。

寄1番地の活用事業

議員 地元としてはどう

町民 施設が良いです。地域の魅力発信

して賑い創出の拠点、寄地域に人を誘導するための一つの拠点となれば良いなと思っています。湯の沢地区に防災拠点があれば良いと思います。

町民 規制を厳しくしてしまつと業者が参入しにくくなつてしまつので、考慮して進めてもらいたい。

意見・要望

- ・資料が文字ばかりで分かりづらい。
- ・議員の一般質問の内容が、事前に分かっていたら、傍聴者が多くなるのではないかと。
- ・議会報告も防災メールのようにメールで送って欲しい。
- ・小田急口マンスカーの新松田駅停車の廃止は何かならなかったのか。
- ・大井町には、矢倉沢往還の看板がある。松田町にも設置して欲しい。
- ・源朝長(源頼朝の兄)の看板を設置して欲しい。



住みやすい町を目指して... ③4

充実したシルバーライフと地域活性化の一翼を

(一社)松田町シルバー人材センター理事長 久保スエさん(中央在住)

平成27年4月に一般社団法人化

松田町シルバー人材センター（以下「センター」）は、平成4年に「松田町生きがい事業団」として発足し、平成27年4月からは法人化して現在の名称である「一般社団法人松田町シルバー人材センター」となりました。会員数は6月末現在で、111名。男性が76人、女性が35人です。

「センター」には、ふるさと鉄道、駐車場（西平畑公園）、障子、剪定、草刈、パークゴルフ、除草の7つの班があり、これらの班で扱う作業の大半を占めています。

そのほかにも放置自転車のパトロールや公園トイレ管理、町民文化センター、健康福祉センターの清掃等の管理などがあります。複数の班を掛け持ちしている会員もいます。

会員からは「作業に行ったら中学の同級生の家で、作業の合間に昔話に話が弾んでしまった。」「暑い中での作業も多く、大変だけど、お客さんから“待ってたよ”と言われてたり、休憩時間に冷茶などを出してもらえると嬉しいものだよ。」「子供の笑顔を見ると疲れも吹っ飛んじゃう。」などの話を耳にします。それぞれの作業の中で地域のみなさんとふれあい、交流



伊豆方面へ出かけた会員親睦旅行(平成30年1月)

する機会になっているようです。

今紹介した仕事のほかにもセンターが扱っている仕事はありますが、業種によっては、扱える会員が少なく、数か月もお待ちいただくことやご希望に添えない場合もあります。そういった業種では、お客さんのためにも一緒に働いてくれる仲間がもっと居ればと思います。

会員を募集します

「センター」では、一緒に働いていただける会員を募集しています。年齢は60歳以上で健康な方であればどなたでも加入することができます。

作業に応じて配分金が支

払われます。健康福祉センター内に事務所があり、随時受け付けています。少しばかり余裕ができた時間を使い、自分の持っているスキルを活かして地域に役立ちたいと考えている方、最後に電話番号を載せておきますから、ご一報ください。

また、ここで紹介した作業をお願いしたいという方、こんなことは出来ないかという方もご連絡をお待ちしています。

【連絡先】

松田町シルバー人材センター ☎82-4227

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下記までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしております! 第3回定例会は9月4日(火)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
大館 秀孝	齋藤 永	小澤 啓司	中野 博	飯田 一	平野由里子	議会広報広聴常任委員会

梅雨明けが6月、聞いたことがありません。大きな地震や集中豪雨に猛暑続き、地球が悲鳴を上げています。日頃から災害への対処を考えておきたいものです。
7月1日に3回目の議会報告会を、町民文化センターと寄中学校屋内運動場で開催しました。今回は、報告だけでなく参加者との意見交換を重視しました。詳細については、10ページと11ページをご覧ください。これからも皆様方と率直な意見交換ができるような機会を作ってまいります。(小澤)

